

ACS図書ボランティア「いとぐるま」の 朝の読み聞かせだより 夏号

発行：平成29年 横浜市立東小学校ACS「いとぐるま」&学校司書

4月から7月までに「いとぐるま」が読んだ本の中で、いくつか紹介します。選書の理由やあらすじ、読み手の感想もお知らせします。夏休み中に良書に触れてみてはいかがでしょうか？大人にも面白いですよ！

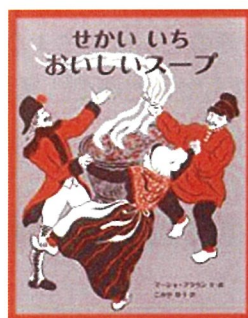
6年生



最後に子ども達から「あー！そういうことか」との反応があって楽しんでくれたようです。

5分後に意外な結末②青いミステリー

学研出版編集 ショートストーリー(作者混合)



人に物をたのまれた時自分のことしか考えないのではなく、みんなが幸せになる方法をおもしろおかしく書いた本でした。大人にも考えさせられる本でした。

せかいいちおいしいスープ

マーシャ・ブラウン 岩波書店

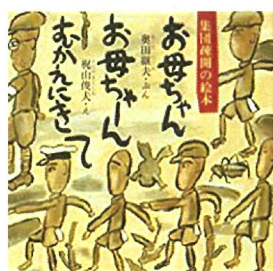
5年生



深海のお話です。海の中でゆれるひかり...あれはわたしのひかりです。植物プランクトンが支える命の循環を海の中に探しに行きます。みなさん聞いてくれました。

海のひかり 評論社

モリー・バング & ペニー・チザム作 さくまゆみこ訳



集団疎開の絵本過去の現実。4年生の主人公。食い入るように聞いている子もいました。

お母ちゃん お母ちゃん むかえにきて

奥田 継夫文 梶山俊夫絵 小峰書店

4年生



どんぐりとやまねこ

宮澤 賢治作

童心社

宮澤賢治の紙芝居は子ども達も目をキラキラさせて聞いてくれていました。



ふしぎなテレビのいじわる作戦

ニコラ・ドイルシング作

文研ブックランド

かなり長いお話ですが、よく見てくれました。

外に働きに出ている両親が帰ってくるまでの時間、おやつを食べながらテレビ鑑賞をしている主人公。急にテレビが写らなくなり、代わりに口が出てきた！

ACS「いとぐるま」は水曜日の8時25分から40分まで、各学年の読み聞かせを行っています。